

■ HI 学会ヒューマンインタフェースシンポジウム 2008 ワークショップ

「コミュニケーションツールとしてのペルソナ・シナリオ」 & 「HCD-Net Night」

<http://www.his.gr.jp/his2008/#workshop>

■ 参加について

このイベントは HI シンポジウムとのジョイント企画です。シンポジウム参加者を対象にしたワークショップに加えて、ワークショップでの話題提供者の方々や HCD-Net 理事の方々とディスカッションできる懇親会をセットで企画しました。貴重な機会ですので、ぜひとも通しでご参加ください。

とはいえ、せっかくの交流の場ですので懇親会のみでの参加も大歓迎いたします。どうぞご参加ください。

■ テーマの狙い

ペルソナ・シナリオの重要性が広く認識されるようになり、その書き方や作り方などが語られるようになってきました。

今回はペルソナ・シナリオのコミュニケーションツールという側面を掘り下げることで特に、これから導入を志す立場の方々や導入したけれど悩んでいるの方々に対し「ペルソナ・シナリオはどうあるべきかに関する新しい視点を提供すること」、「ペルソナ・シナリオを作成する部門以外の方々への対応例を知り力強く導入できるように後押しすること」ができるようにと考えております。

■ 開催日時：2008 年 9 月 1 日(月) 17 時 10 分～21 時半

■ 会場：大阪大学コンベンションセンター 2 階会議室 2

<http://www.handai-kouenkai.org/convention/>

■ 定員あり(先着順)

■ 内容：

※基本的に 1 部(ワークショップ)、2 部(懇親会)通しての参加を推奨いたします。

※2 部(懇親会) のみの参加も歓迎いたします。

【1 部 (HI シンポジウム参加者対象のワークショップです)】

17 時 10 分～

「コミュニケーションツールとしてのペルソナ・シナリオ」

司会：伊藤 潤 (ソニー)

話題提供者：郷 健太郎氏 (山梨大学)

山崎 正孝氏 (日本 IBM)

久鍋 裕美氏 (富士通デザイン)

吉井 誠氏 (アイ・エス・ティ)

【2部(どなたでも参加可能な有料の懇親会です)】 19時半～21時半

「HCD-Net Night」

■会場：レストランミネルバ

(コンベンションセンターから徒歩5分くらい)

<http://park21.wakwak.com/~restaurant/minerva/index.htm>

立食形式にての懇親会です。

話題提供者やHCD-Net理事の方々とディスカッションできる貴重な機会ですので、どしどしご参加ください。もちろん、懇親会のみでの参加も大歓迎です。

■参加費：4,500円(当日、現地にて集めます)

※1部構成詳細(一人約30分で、話題提供の順番は仮です)

●司会(企画担当)：

HI学会理事 HCD-net 理事 伊藤潤(ソニー)

●1)山梨大学 郷 健太郎氏

「ユーザビリティの特徴を伝えるシナリオとは」

●2)日本アイ・ビー・エム 山崎 正孝氏

「Lotus Software 開発におけるペルソナ事例の紹介」

◎概要：

Lotus 製品の開発チームではグローバルにペルソナを作成し、活用している。社内はもちろんであるが、ブログにてペルソナを公開し、社外のユーザーからの意見収集にも利用している。コミュニケーションの円滑化や開発現場での意思決定、フォーラムなどでのプロモーションなどにも有効に活用しており、それらの事例を紹介する。

●3)富士通デザイン 久鍋 裕美氏

「富士通キッズ」における、ペルソナマーケティング適用事例のご紹介

◎概要：

富士通キッズサイトのペルソナを作成し、ハンドブックとして公開しました。ペルソナを使用したデザインレビューを行うことにより、参加者のモチベーションと議論の質が向上しました。他にも、予算やスケジュール等、状況に応じたペルソナ活用等、社内各部門とのコミュニケーションツールとしての活用事例をご紹介します。

●4)アイ・エス・ティ 吉井 誠氏

「すぐ実践で利用できた！小さなチームでのペルソナ手法の利用方法と事例」

◎概要：

中小企業のホームページ作成で、ペルソナ手法を使って実践した利用方法とその事例についてご紹介いたします。具体的な事例としては、

- ・ ホームページ公開前にペルソナ手法で成約できた住宅会社の例
- ・ 障害を持ったクリエイターが参加でき、
在宅勤務の可能性を広げた例
- ・ ホームページ作成でクレームがなくなった
ペルソナ手法の本当の実力

などを予定しております。

●企画責任

HCD-net(人間中心設計推進機構)

伊藤 潤 (ソニー) itojun@dc.sony.co.jp

水本 (シスメックス) Mizumoto.Toru@sysmex.co.jp

■参加申込方法

メールタイトルを「HI 学会シンポジウム&HCD-Net Night」

としてhcdnet_registration@hcdnet.org宛に下記の内容をご回答の上で、ご返信願います。

①氏名

②所属先名

③メールアドレス

④会員種別(HCD-Net 会員/一般)

⑤参加形態(一つお選びください)

： 1部(ワークショップ)と 2部(懇親会)両方に参加する※推奨いたします

： 2部(懇親会)のみに参加する

： 1部(ワークショップ)のみに参加する

以上どうぞよろしくお願いたします。